

『美術資料』ご案内

美術資料

Q & A

なぜ、『美術資料』が
必要なのですか？

『美術資料』が**選ばれる理由**



多くの学校に
選ばれる理由を
見てみよう！

Q1

なぜ、
教科書だけでなく
『美術資料』が必要？

P.2

Q2

教科書にも
「資料」ページが
ありますが？

P.4

Q3

教材研究や準備の時間が
限られています。『美術資料』に
授業のヒントは？

P.12

Q4

美術と身近な生活や
地域社会とのつながりを
意識させるには？

P.14



心が動く、その先へ。

秀学社

Q1 なぜ、教科書だけでなく『美術資料』が必要なのですか？

いつも『美術資料』をお使いいただき、誠にありがとうございます。
発行よりおよそ35年間、
美術教育を豊かにするため、
学校現場のみならずとも歩んできました。
急速に変化する時代の中にあっても、
『美術資料』の良さを
あらためて感じていただけましたら
嬉しいです。



『美術資料』の

これまで

おもな採用理由 アンケート集計（2024年度実施）より

- ・技法や知識の説明のため
- ・教科書の内容を補うため
- ・鑑賞の教材として
- ・使い慣れているから

そのほか

- ・県版があるから、テスト範囲として、自身も使っていたから

これから

- ・教科書の資料ページの充実
- ・保護者負担の軽減
- ・教員の働き方改革 など

資料集の必要性が問われる時代へ

A

『美術資料』は、

学びの目標を
実現するために

授業で 使える

からです。

授業に必須のページがたくさん！

基礎・基本をサポートする「美のガイダンス」



P24-25 「用具大図鑑」

P18 「構成美の要素」

分かりやすい表現技法の説明



P12-13 「形や色をイメージに（モダンテクニック）」

充実のデザイン分野



P28-29 「発想し、構想を練る 2」

教科書



美術の学びの
はじまり

各題材は、授業の目標に沿う。

目標は、主題の生成、豊かな発想・構想、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める、など。

授業の骨格となる役割。

『美術資料』



美術の学びの
その先へ

教科書の題材の目標を実現するための具体的な手段や方法を紹介。

多様な材料や用具を使った表現の技法、幅広い鑑賞図版、関連する知識などを掲載。

授業ができるように肉付けを行う役割。

つまり

教科書と『美術資料』は役割がちがうので、
ふたつあわせることで、より充実した授業ができます！

実際に授業で『美術資料』が役に立つんだよね～！



Q2 教科書にも「資料」ページがありますが、それでも『美術資料』は必要ですか？

POINT 1 「資料の多さ」で授業をフォロー

A

『美術資料』は、
 広くて深い「美術」の魅力を伝えるために**必要**です。
 授業に必須の「**事典的存在**」として。

POINT 1 授業を丁寧にフォロー

- 資料の多さ
- 分野の幅広さ

教科書3社に対応！
 学校や地域による**題材のちがいにも対応**できる。
 少数の題材も取り残さない。

は、教科書になく、『美術資料』**だけ**に載っている内容です。
 (※赤枠以外は、各社の教科書に載っている内容)

鉛筆 (技法) のページの場合

P36-37 「鉛筆で描く」

画像や図が多くて、見るだけで楽しい!

色彩 (知識) のページの場合
 P3-5 「色の整理」、
 P6 「配色の工夫」

なるほど～やってみよう!
 生徒が自ら生かせる

Q2

A

POINT
1

「分野の幅広さ」で 授業をフォロー

絵画 [人物]
の制作で
『美術資料』
を使う

「友達・その人らしさ」「自分自身を見つめて(自画像)」など、教科書の題材として人物がテーマの絵画の制作は必ず掲載され、多くの学校で実践されています。

授業の段階ごとに
役立つ!

観察やスケッチ
作品の鑑賞

発想・構想
主題の生成

技法 (画材)

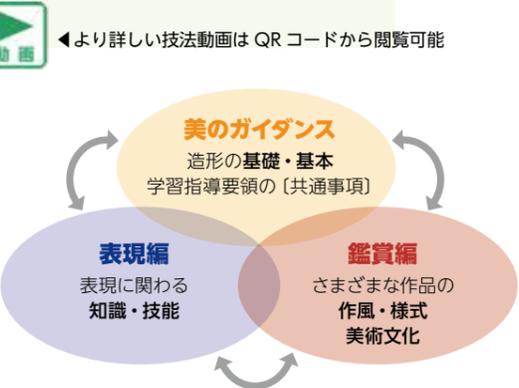
表現

人物を描く表現方法も、
主題生成につながる
人物画の鑑賞も学べる!



『美術資料』
があると…

学習指導要領の「特に発想や構想に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力とを総合的に働かせて学習が深められるようにすること。」に沿って、『**美のガイダンス**』『**表現編**』『**鑑賞編**』のサイクルで、総合的に美術を学べます。



より詳しい技法動画は QR コードから閲覧可能

Q2

A

POINT
1

「分野の幅広さ」で 授業をフォロー

デザイン [マーク]
の制作で
『美術資料』
を使う

教科書の伝達のデザインの題材として「シンボルマーク」「ピクトグラム」などの制作は、どの教科書でも必ず掲載され、多くの学校で実践されています。

授業の段階ごとに
役立つ!

アイデアスケッチ
身近な例の鑑賞

発想・構想
主題の生成

知識 (色彩)
技法 (画材)

表現

デザインの発想・構想
からの表現、身近な
マークの鑑賞も学べる!

伝統・文化

和のデザイン



P150-151 「和の文様」

主題

誰に
何を
どのように
伝える?



P94-95 「マークで伝える」

デザインの
発想・構想

デザイン思考
目的・条件・
機能

デザイン思考
目的・条件・
機能



P28-29 「発想し、構想を練る 2」より



教科書の題材
マークをつくる

デジタル
タブレットを
使って



P97 「コンピュータを使って表現する」より

形

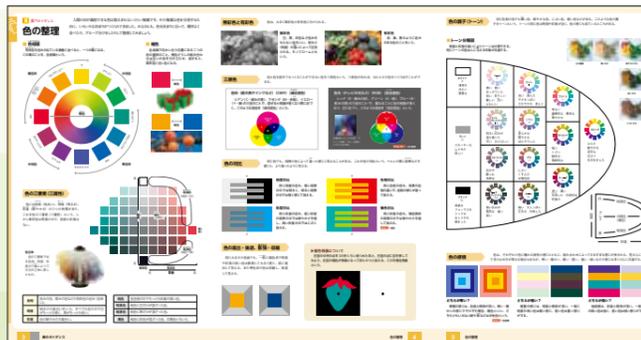
形の組合せ
による構成の
美しさ



P40 「アクリル絵の具で描く」

色彩

色が
感情にもたらす
効果



P3-5 「色の整理」

色彩

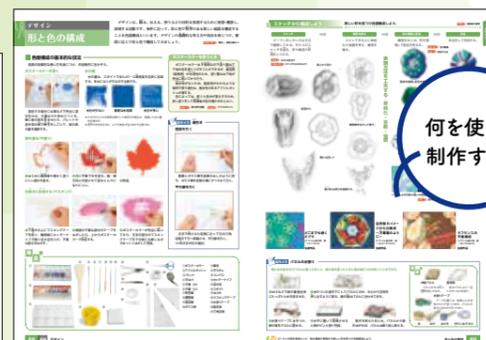
生活の中の
色の役割



P8-9 「暮らしの中の色」

画材

何を使って
制作する?



P88-89 「形と色の構成」



◀表現に関連したワークシートはQRコードから利用可能

『美術資料』
があると…

教科書ではマークやロゴは公的機関などのものしか掲載できませんが、『美術資料』では生徒が生活の中でよく目にする企業などのマークを多く掲載。
学びがぐっと身近になります。



P94 「マークで伝える」より

Q2

A

POINT
2

見やすい、調べやすい、使いやすい

- ・高品質の印刷
- ・表現と鑑賞がリンクしたつくり
- ・デジタル版もあり

生徒が知りたいことを
主体的に調べられる工夫がいっぱい。

鑑賞（知識）
のページの場合

キレイ〜
もっと
見てみたい!

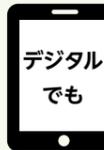
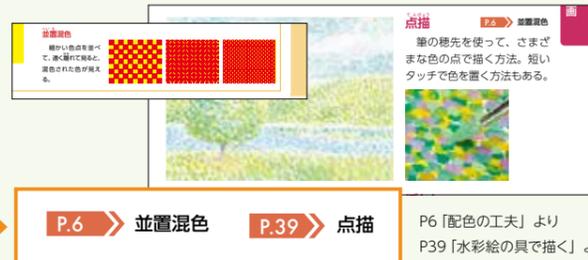
作品の再現に
近づけた画質と発色



日本と西洋の
比較年表も

表現⇔鑑賞
相互リンクも

関連ページへのリンクで、
表現効果や技法など、気になった
ことがすぐに調べられます。



『デジタル版美術資料』では、
気になる作品をぐっと拡大して鑑賞できます。
さらに、デジタル版だけの追加資料や作品もあり。



つかみやすい
美術史の流れ

1冊にまとまっているので
前後関係が分かりやすく、
関連作品も豊富。



▲「印象派」の前後のページ

P112-113「明暗のドラマ」、P116-117「ジャポンにひらめきを得た」

『美術資料』の使いやすさはそのまま
デジタル版でより深い学びへ

デジタル版美術資料

コチラから



インストール不要のブラウザ閲覧で、一斉学習・個別学習・共同学習に対応。『美術資料』とのセット購入のほか、単独でも購入頂けます。



POINT
3

ずっと使える

- ・興味・関心を引き出す
- ・学びが広がる、深まる

めくるたびに発見のある充実の内容で、
3年間に限らず、
生涯にわたって美術に親しむきっかけに。



事典みたいに
す〜っと
手元において
おきたい!

私も
使ってました!
今見ても
面白いですね。

詳しくはP16掲載の
「『美術資料』
新パンフレット」へ▶



炭酸デザイン室
水野若菜さん
(テキスタイルデザイナー)

Q3 教員の働き方改革や非常勤講師の増加の影響で、 教材研究や準備の時間が限られています。授業のヒントはありますか？

A

『美術資料』では、
すぐに授業に生かせる内容が充実。

比較的少ない単位時間でも、
学びが身に付くようサポートします。

POINT
1

短時間題材の指導案

- ・既存題材（10点）に指導案を追加
 - ・新規題材も増量（約4点）
- 準備物はもちろん、**学習のねらいや、授業の流れ、評価規準**などの**分かりやすい説明も。**

POINT
2

ワークシート

- ・無料ダウンロード（28枚）
 - ・美術資料 活用のためのワークシート集（有料版、18枚）
- 『美術資料』に準拠した内容で、授業にすぐ使えて、**知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力なども**確かめられます。

POINT
3

テスト範囲として

- ・学習項目が明確
 - ・定番の内容が変わらない
- テスト範囲に指定しやすい。**
先生は問題を作成しやすく、生徒もテスト前の復習ができ、**お互いに学びの確認**が可能。



「ここ、テストに出します」が
分かりやすい！

▶ 指導案が豊富で、短時間題材がさらに実践しやすく **New**

新しい題材も

今ある題材も

先生向けの QR コンテンツとして随時更新。
指導案にあわせて、ワークシートも追加予定。

コチラから

▶ 自習課題や自宅学習に、さらに定期テスト問題の参考にも

無料でダウンロードして
授業で使えるワークシート
(PDF・Word)



ワークシート ラインナップ（一部抜粋）

ワークシート（題材）名	『美術資料』 関連ページ
色の整理	P3-5「色の整理」
そっくりに描く	P3-5「色の整理」、P7「色をつくるヒント」
イメージマップ	P26-27「発想し、構想を練る1」
鉛筆で描く・タッチと質感	P36-37「鉛筆で描く」
鉛筆で描く・光と陰	P36-37「鉛筆で描く」
鉛筆で描く・もののかたち	P36-37「鉛筆で描く」
色鉛筆で表現する	P42「色鉛筆で描く」
表情を描こう	P46-47「漫画で表現する」
てん刺をつくらう	P83「印をつくる」
紙を加工する—じゃぼら折り—	P84-85「紙でつくる」
レタリングの基本	P92-93「文字で伝える」
絵文字をつくる	P92-93「文字で伝える」
マークをつくらう	P94-95「マークで伝える」
生きることへの願い、そして憧れ	P104-105「美術のはじまり」
細部に宿る仏のちから	P106-107「仏像の美」
手の表情を読み取る	P110-111「レオナルド・ダ・ヴィンチ」

ダウンロードや印刷不要で、
すぐに使える！
厚めの上質紙を採用した
**美術資料 活用のための
ワークシート集（有料版）**
好評販売中



▶ 定期テストに活用しやすい

教科書は授業の骨格で、実際の制作などは資料集を参照して進めるので、テスト範囲は『美術資料』で指定しやすいです。

また、「注意 」「制作メモ 」「囲みのコラム」「種類の違いを表にしたもの」など、ポイントが整理して示されているので、先生の問題作成にも生徒のテスト対策にもつながります。

P3「色の整理」より

色相 赤みの色、青みの色などの有彩色の色み（色あじ）。

明度 明るさの度合いをいう。すべての色の中で白がもっとも高く、黒がもっとも低い。

彩度 色の鮮やかさの度合い。

P9「暮らしの中の色」より

安全と色

私たちの日常生活には、禁止標識の赤、非禁口の緑のような大切なメッセージを伝える役割の配色がある。このような配色は、遠くからでも「禁止」「安全」などの指示内容が一目で認識できるように、JIS Z 9103（図記号—安全色及び安全標識—安全色の色度標識の範囲及び測定方法）というルールで定められている。配色が間違えば、いざというときに私たちの命を守る重要な働きをしている。2018年に、カラーユニバーサルデザインの観点でとくに赤色が見直しされた。

P63「いろいろな版画」より

Q4 生徒に、美術と身近な生活や地域社会とのつながりを意識させたいのですが…。

A

『美術資料』には、生活における美術のページや、都道府県ごとに特色のある**県版資料**があります。

地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域から学ぶ

県版資料は、郷土の美術文化に触れることのできる、ほかに代えがたい貴重な教育資料です。

※県版資料がない地域もあります。

各地の先生方とともにつくりあげた、各地の子どもたちのための美術の学びです。



神奈川県版



東京都版



大阪府版



P152-153 『暮らしを心豊かにするデザインの力』

「生活における美術の働き」の紹介



日本の伝統文様の身近な実用例 (PDF資料)

日本各地の伝統工芸や地域のマークの紹介



P158-159 『地域の素材を生かす手仕事』



P95 『マークで伝える』より



うわあ〜すごい！
自分の地域のこと、
知れて楽しいなあ！

地域の伝統や
文化の復興へ



日本って
すごいだね！

国際社会に
つながる学び



『美術資料』関連資料のご紹介

先生方の必要に応じて、ぜひご活用ください。

『美術資料』新パンフレット

『美術資料』の新しい一面を知りたい先生へ

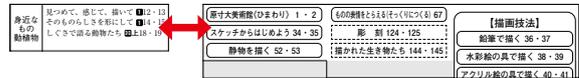


◀パンフレットの内容はコチラ

新しい教科書でも安心!

教科書学習項目対照表

教科書との関連を知りたい先生へ



授業で活用できるページを探すのに便利です！
指導計画を立てる際にお役立てください。

▲ご採用の先生方がお使いいただけます

まなび! net

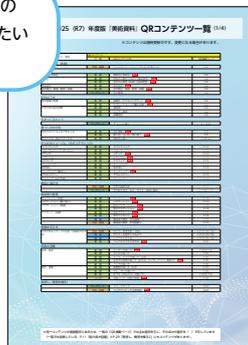
『美術資料』の活用方法を
知りたい先生へ



◀美術資料通信『まなび! net』は
コチラ

QRコンテンツ一覧

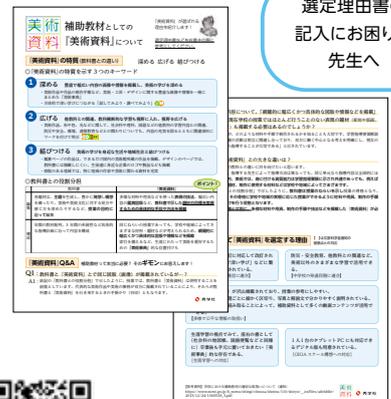
『美術資料』のQRを活用したい先生へ



◀QRコンテンツ一覧は
コチラ

補助資料としての『美術資料』について

選定理由書の記入にお困りの先生へ



◀選定理由書記入の参考資料は
コチラ

美術資料

長年使い続けられた「スタンダード」の良さと、学校現場の声を取り入れた「新しさ」が共存。

株式会社秀学社

<https://www.shugakusha.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6695-1331 FAX: 06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL: 03-3389-4614 FAX: 03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL: 092-531-8268 FAX: 092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690

その他教材の情報は/
秀学社HPへ!



取り扱い代理店

※ QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。QRコンテンツは、予告なく変更または削除する場合があります。